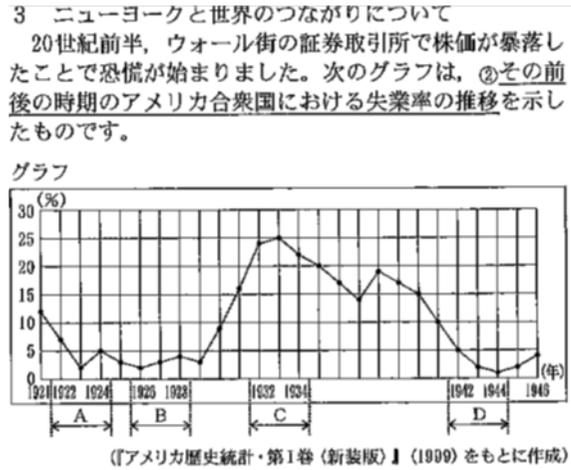


問題 下線部②に関して、グラフ中の時期に起こった出来事について説明した次のカードおよびその説明文について、説明文の (え) に当てはまる語句を雇用の語を用いて4字以上8字以内で答えなさい。また、(お) に当てはまる時期をグラフ中のA~Dの中から一つ選び、記号で答えなさい。《2020 神奈川県公立入試》



カード
アメリカ合衆国では、テネシー川流域開発公社がつけられ、この公社の事業によって多くのダムが建設されました。公社とは、国家が出資してつくられた法人のことです。

説明文
カードで説明された事業は、公共事業であり、
え 効果をもっています。
この効果をふまえて考えると、この事業は、グラフ中の お の時期におこなわれたと考えることができます。

解き方

1. 資料を確認する。

グラフ→20世紀前半のアメリカにおける失業率の推移を示したもの。縦軸は%、横軸は年を示している。

説明文→アメリカで行われた公共事業による効果をまとめた文章

2. 資料を活用して知識事項を確認する。

グラフ→アメリカを中心に起きた1929年の世界恐慌で失業率が急増した。

説明文→世界恐慌の対策として行ったニューディール政策についてまとめている。

ニューディール政策は公共事業を多くして失業者に仕事を与えた。

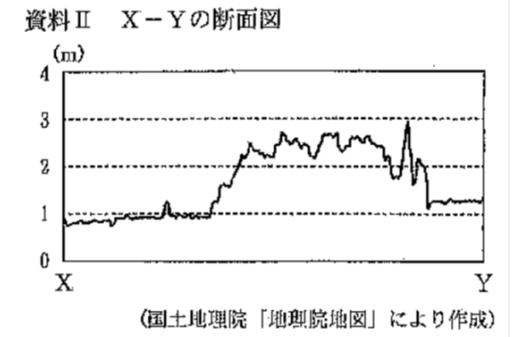
3. 答えを導く。

(え) →失業者に仕事を与えたので、「雇用を安定する」「雇用を促進する」という内容が考えられる。

(お) →この事業(ニューディール政策)が行われた時期を問われている。よってC

答え (え) →雇用を安定する (お) →C

問題 図に記載されている「長戸」の集落は、江戸時代に開発された「長戸新田」が元となっており、古くから人々が住んでいたことが分かった。防災の観点から考えた場合、この場所に集落が形成された理由として考えられることを、資料Ⅱを踏まえ、簡潔に書きなさい。



解き方

1. 資料を確認する

図→長戸が記載されている地形図。

資料Ⅱ→図に記載されているXからYの断面図。縦軸がm。横軸はXとY。

2. 資料を活用して知識事項を確認する。

図→長戸に集落が集中している。

資料Ⅱ→長戸周辺は他の地域より標高が高いことが分かる。

3. 答えを導く。

防災の観点での長戸に集落が集中する観点を考える→標高が高いため、水害の心配が少ないことが考えられる。

答え 川が氾濫しても、周囲より標高が高く、安全であるから。